

### 第3, 4学年体育科学習指導案

日 時	平成22年11月18日(木) 5校時
児 童	3年生 男3名 女5名 計 8名 4年生 男9名 女5名 計14名
場 所	体育館
指導者	T1 武田 恵子、 T2 中村 淳 学校支援員 瀬川 直子

#### 1 単元名 体づくり運動 ～西根忍者、修行をするの巻～

#### 2 単元について

##### (1) 教材について

体づくり運動は、「体ほぐしの運動」「多様な動きをつくる運動」を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようにすること、運動に進んで取り組み、きまりを守り仲良く運動したり、場や用具の安全に気を付けたりできるようにすること、体づくりのための運動の行い方を工夫できるようにすることを目標にして、設定された領域である。

「体ほぐしの運動」は、手軽な運動や律動的な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、自分の体の状態に気付き、体の調子を整えたり、仲間と豊かに交流したりできることをねらいとして行われる運動である。「多様な動きをつくる運動」は、体のバランスをとったり移動をしたりする動きや、用具を操作したり力試しをしたりする動きを意図的にはぐくむ運動を通して、体の基本的な動きを総合的に身に付けるとともに、それらを組み合わせた動きを身に付けることをねらいとして行う運動である。

低・中学年においては、発達の段階から体力を高めることを学習の直接の目的をすることは難しいが、この時期にこれらの運動を行うことで、さまざまな体の基本的な動きを培っていくことは、将来の体力の向上につながっていくものであり、体づくり運動は、児童にとって必要な運動である。

##### (2) 児童について

体育の好きな児童が多く、休み時間にも積極的に体を動かして遊んでいる姿が多く見られる。晴れた日には、外に出て鬼ごっこをしたり、雨天時にはドッジボールやドッジビーなど、他の学年も誘い合い、男女関係なく遊んだりする姿が見られる。4月から始めた合同体育でも、学年、男女に関係なく、楽しく運動に取り組んでおり、お互いに良さを見つけたり、励まし合って活動する様子も見られる。

2学期からは、検定試験を取り入れた全校縄跳びの取り組みや、校内マラソン大会へむけての取り組みも積極的に進められるようになってきた。

体づくり運動は、1学期に行った「マット運動」の単元で、1単位時間の導入部分で「体を移動する運動」を取り入れ、マット運動に抵抗なく取り組むことができるようにした。また、「用具を操作する運動」として短なわとびに継続的に取り組んでいて、いろいろな技で跳べる児童も増えてきている。しかし、体づくり運動全体で考えると、経験値が低く、まだ取り組んでいない運動も多い。

4学年には、個別に支援を要する児童(女児)がおり、学校支援員の支援を受けて学習をしている。集団と同じ活動が難しい場面もあるが、内容を工夫したり、補助をしたりして楽しみながら学習に参加できるように支援をしている。

##### (3) 指導にあたって

体の基本的な動きを総合的に身に付けさせるために、動きをじっくり経験したり、くふうしたりするための十分な時間を確保するとともに、1単位時間の授業の中で複数の運動を取り上げるなど、児童の興味・関心の持続や心身の発達の段階を配慮していく。構成として、全員ができる易しい動きから始め、基本的な動きは一斉指導で身に付けさせるようにし、また、単元の中で、個々の児童の実態を踏まえて、「動きを確認しながら運動する時間」を設定したり、後半には「動きを選び、工夫しながら運動する時間」を取り入れたりして、様々な動きを経験させ、身につけることができるようにさせたい。

授業では、児童の実態に応じて時間を配分するようしたり、単調な動きの反復練習に終わることなく、児童にとって楽しく取り組めるように配慮したりする。また、体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動を構成するそれぞれの動きのねらいを明確にして指導していく。動きを工夫する時間やよい動きを見付けその動きを広める時間を確保することで、友達の良さを見つめ、励まし合って運動に取り組む態度を育てたり、一緒に運動することの楽しさを感じさせたりしたいと考える。

個別に支援を要する児童については、支援員が補助しながら、できるだけほかの児童と同じか近い運動をさせていく。その際、安全面には、十分留意していく。

3 単元の目標

観 点	目 標
関心・意欲・態度	○きまりを守り、友達と励まし合って運動をすることができるようにさせる。 ○用具の準備や片付けを、友達と一緒にすることができるようにさせる。
思考・判断	○多様な動きをつくる運動の行い方を知り、友達のよい動きを見付け自分の運動に取り入れることができるようにさせる。 ○運動の仕方によって気持ちが変わることに気づくとともに、友だちと一緒に運動したり用具を使って運動をしたりするなど、楽しく運動できる行い方を選ぶことができるようにさせる。
技能	○体のバランスをとる動きや、用具を操作する動きを意図的にはぐくむ運動を通して、体の基本的な動きを総合的に身につけることができるようにさせる。

4 単元の指導、及び評価（5時間扱い）

1	2	3（本時）	4	5
オリエンテーション ・めあての確認 ・学習の進め方の確認 ・安全のための約束確認	○体のバランスをとる運動 ○用具を操作する運動	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     ①本時のめあてを確認する。                      ②体のバランスをとる運動を行う。                      ③用具を操作する運動を行う。                      ④学習の振り返りをする。                 </div>	○動きを選び、工夫しながら運動する。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     ①本時のめあてを確認する。                      ②動きを選び、工夫しながら運動を行う。                      ③学習の振り返りをする。                 </div>

観 点	B：具体的評価規準 (A：十分満足できる状況)	努力を要する児童への指導の手立て
関心・意欲・態度	○多様な動きをつくる運動に(A：進んで)取り組もうとする。(観察)	運動の課題を個別に確認し、自分の力に合っためあてをもたせる。
	○用具の準備や片付けを、(A：声をかけながら)友だちと一緒にしようとする。(観察)	オリエンテーションで確認した約束を個別に指導する。
思考・判断	○運動の仕方によって気持ちが変わることに気付くとともに、友達と一緒に運動したり用具を使って運動をしたりするなど、楽しく運動できる行い方を(A：適切に)選んでいる。(観察・カード)	図を使って、運動の仕方を個別に説明する。
	○多様な動きをつくる運動の行い方を知るとともに、友達のよい動きを(A：適切に)見付け自分の運動に取り入れている。(観察・カード)	用具の効果を個別に説明する。
技能	○体のバランスをとる動きや、用具を操作する動きを意図的にはぐくむ運動を通して、体の基本的な動きを総合的に(A：効果的に)身に付けることができる。(観察)	バランスを取りやすくするためのポイントを個別に説明する。

5 本時の指導（3 / 5）

(1) 目標

体のバランスをとる動きや、用具を操作する動きができる。

(2) 本時の構想

- バランスをとる動きや用具を操作する動きのポイントを児童に理解させる。
- 新しい運動に挑戦したり、ゲーム的な要素を取り入れたりしながら、運動に取り組ませる。
- 教師の関わり

T 1 : 全体の指導、授業の進行等

T 2 : 個別の指導、場の設定等

(3) 本時の評価

体のバランスをとる動きや、用具を操作する動きができたか。

(4) 展開

学習内容・学習活動	時間	指導上の留意点 ◆評価規準	準備・資料
1 準備運動 ・体操、鬼ごっこ等	7	○音楽をかけ、声を出しながら、元気に運動させる。 ○安全に配慮し、一つ一つの運動を丁寧に行わせる。	・音楽（C D）等
2 課題確認	2	○本時のめあてを確認する。	
忍法バランスの術、なわとびの術の巻			
3 本時の運動 ・体のバランスをとる運動（Gボール） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・数字書き ・両足上げ ・両足上げ人工えいせい</div> ・用具を操作する運動（なわ跳び運動） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・リズム跳び ・スーパー仲良し跳び ・なわ跳びリレー</div>	30	○Gボールを使う際の、安全確認をする。 ○動きのポイントを確かめる。 ○易しい動きから始める。 ○学習カードも効果的に使わせながら、バランスをとる時間を少しずつ長くさせたり、新しい動きに挑戦させたりして、意欲的に取り組むことができるようにする。 ◆Gボールを使用し、体のバランスをとった動きをしているか。  ○個人でのリズム跳び、ペア跳び、グループでの活動も取り入れ、みんなで楽しく運動ができるようにする。 ○連続両足跳びや連続片足跳びを意図的に取り入れていく。 ○跳び方の上手な児童を取り上げ、賞賛する。 ◆跳びなわを正しく使って、リズムカルな動きをしているか。	・マット ・Gボール ・学習カード  ・音楽
4 整理運動	3	○運動で使った部位をほぐす。	
5 学習のまとめ	2	○学習感想を発表させる。	
6 次時予告	1	○次時の学習内容を確認して終わる。	

